キャプションにQRコードメッセージが添付された作品　※作品に付けられたQR-***のコード名に対応

QR-07：納富　誠：ＮＡＥＢＡ：百分の一秒を競う雪上の熱き戦い、テクニックと勇気・一瞬の判断が勝敗を決するアルペン競技に魅了されて。
QR-02：益子　啓子：落日の情景：剥き出しの広い岩場を渡り歩き、静かな海に落ちて行く夕陽に長い刻を追いながら脳裏に収めた。
QR-05：作山　房子：雪花：枯木にきれいに雪の化粧、チェスキークルムロフの朝を描いてみました。
QR-08：近藤　正之：夢また夢：テロ、災害、頼るものなし、平穏なひと時を求めて。
QR-09：安岡　英雄：シルバーソード（銀剣草）の朝：満天の星空のもと東の空がピンクに染まり水平線に金色の帯が走り太陽が顔をのぞかせ神々しさまさに太陽の家ハレヤカラ。
QR-10：今野　利男：棚田の秋：水鏡の景観が素晴らしい越後星峠の秋景です。日本の棚田を代表するとも言える棚田です。
QR-11：細貝　義昭：オレンジの風景：細かいタッチで一つ一つの連屋の存在を表現してみました。
QR-12：森　典彦：階段のある道ーヴェネツィアにて：ヴェネツィアは橋が多く、橋に向かう階段も多い。階段の向こうに視線を注ぎつつ各国の人を描いた。
QR-13：和田　愛子：秋の詩：春なのに秋を描いてしまいました。春にはない色が好きです。
QR-15：中里　和子：黄色い部屋：この部屋は、「愛とエネルギー」がいっぱい。優しい時間が、見る人の心を豊かにさせる絵です。
QR-16：中野　富夫：称名滝・ハンノキ滝：立山連峰深奥に落差350mの称名滝がある。右手のハンノキ滝は時期により形成しない場合あり。
QR-17：目黒　勲：蔵と堀のある街：近江商人で栄えた蔵と堀のある商都近江八幡。現場2回は水彩で、油30号は歴史の重さを描きたくて半年がかりで塗り重ね続けた。
QR-19：中村　信：フラワーショップ：花屋で見た人工光線の幾何学的な交差が面白くて、少し抽象的に表現してみた。
QR-21：小笠原　裕：雲場の池：旧軽井沢の別荘地にある雲場の池10月末日、紅葉が真っ盛りでにぎわいの中、水彩でスケッチをしてきました。
QR-22：山崎　信榮：脳内@環境：友人にスーパーカミオカンデの話をされた。ちんぷんかんぷんと言うと、ニュートリノの話になった！？
QR-25A：大亦　博彦：中央アルプス・残雪の木曽駒岳(A)：新緑と残雪がマッチして美しい。
QR-25B：中央アルプス・宝剣岳の岩壁(B)：岩の形が動物のようで面白い
QR-28：今井　久夫：浜辺：いつもの砂の絵　砂が好きなんです。
QR-31：加藤　京子：絵美莉のフラメンコ：孫がフラメンコをおけいこしています。がんばっているので描くことにしました。
QR-34：伊津野　ヤス子：晩秋の十和田湖：風雪に耐えて湖畔に佇む古木、半身折れてもりんとしていて元気をもらいました。構図が寂しいですが。
QR-42：曽我　志緒美：希求：現実の中に「希望」を持ち続けたい気持ちを表現しました。
QR-45：津田　哲夫：平潟：特攻魚雷回天の基地であったが敗戦時に格納庫を崩し湾の一部を埋めたてた。3.11ではそれが・・・。
QR-50：中野　雄次：錦秋：秋と云えば、私にとってはやはり紅葉、尾根道で出合った色艶やかな風景に感動し、表現しました。
QR-52：今井　克：稔のあと：山をバックに今年の稔りを示すワラが陽に輝く。秋の快景・・・。
QR-53：江川　宏：ノスタルジー北の港：小樽運河の喧騒を離れ、かもめ舞う港の帆船とは対照的な埠頭の倉庫に郷愁を感じ描いてみた。
QR-54：佐藤　千晶：唄う You Raise Me Up：人は傷悴し落胆した時　ただ寄り添い支えてくれるだけで立ち上れると唄っています。
QR-56：川島　たけ弘：やすらぎ：ひとときを部屋で過ごす。やすらぎの空間です。
QR-57：酒見　文雄：(牛小屋)より追憶：格家族の多種多様な問題が起っているそんな折　小屋と牛を描いて豊かな心の中を表現してみました。
QR-59：永井　てい子：黄色いばら：花の色は、そこに在るだけで神秘だ。季節や人の心に合わせて、和ませてくれる。
QR-60：山崎　修：渓谷の岩：初夏の奥多摩渓谷。渓流の音、まるで生き物のようにうごめきそうな岩厳。岩に魅せられ描いた。
QR-63：寺尾　浩充：幻の邪馬台国(中国統万城)：邪馬台国伝説は中国に源泉があると信じる友と訪ねた荒野に残る統万城の遺跡は不思議な光景だった。
QR-70：片桐　豊：杉：斜面の地でも杉の木はどんな障害があろうとも、天に向かって真っ直ぐに伸びていく様に感銘し描く。
QR-74：井阪　朋徳：おかめ：春を待つ桜が咲く頃におどけて舞う祭の面に思いをはせて。
QR-76：武石　とき子：静物：花、陶器、置物等をモチーフに描く絵が大好きですが　いつも構図で悩んでしまいます。
QR-77：浅倉　文夫：雨あがりの渚：スケッチ会の当日、夜半まで降っていた雨がやっとあがりましたが微妙な海の色に苦労しました。
QR-78：松井　猛：若い女：青春のはかなくもあまりにも短きものよ。若さは宝石箱のようなもの。輝け青春!
QR-J05：坂本　勇夫：咲いたさいたさくらが・・・：毎朝、愛犬との散歩道、四季折り折りにイメージの変化があり、お気に入りのコースです。
QR-J07：多嶋　清次郎：パラリンピック：激走：使える筋肉は全て使い、渾身の力を振り絞って走る障害者の姿に感動。
QR-J09：エドモンド・エヌ・ビアド：One Hot Night：エロチシズムとは何か。それは日本芸術独自の耽美性にある。私に中の「浮世絵」をイメージした。
QR-J17：佐藤　美代子：卓上の果実（I）:卓上の果実（II）：友人の庭に毎年実るオレンジを、今年はコラージュやジェッソを使って描いてみました。
QR-J19：赤塚　百合子：三輪の里：みどりの野菜畑の奥の小高い丘は北条五代沢山城出城址と聞けば、思わず想像力が動き出す。
QR-J26：岡本　金子：昔々・・・雪女がね：手作りかまくらで遊ぶ二人、何を話して居るのかな？子供の頃聞いた昔話を思い出します。
QR-J28：石川　静子：菜の花の丘：菜の花は色が鮮やかな黄色で　丘全体に広がっていてとても美しくて感動を絵にしたかった。
QR-J31：淵本　昌陽：飛沫（しぶき）：滝の水沫、流れの水沫、鳥が水中から飛び出る水沫を表現した。滝に対して鳥が大きすぎた様だね
QR-S07：吉見　典夫：近江八幡堀：時代劇のロケ地として使われる情緒ある風景が広がる中　タイムスリップした気分になりました。
QR-I01：永島　達四郎：翔べ日本：日本が私は大好きです。この国に生まれたことに嬉こびと誇りをもち感謝です。平和を描きました。
QR-I02：倉本　玲子：トンキー：殺された動物達へ捧げる花：２次大戦で上野動物園の３頭の象が餓死しました。殺されたのです。絵のトンキーは20日に・・・。
QR-I03：梅津　浩平：初夏のプラハ：プラハ城から見た旧市街です。遠方に新市街が霞んでいます。
QR-I04：福本　幸嗣：お供馬（伊予菊間）：少年達は急坂を昇り切り、完走をかみしめている。少年達の成長を祈りつつ。
QR-I05：石橋　克也：永歳橋：丹沢湖畔散歩時　早秋と橋とのコントラストに感動しスケッチを元に楽しんで描いています。
QR-I06：都丸　昌男：千葉館山崖観音：船形山中腹の断崖を掘り抜いて朱塗りの観音堂が張りつくように立っている。圧倒され絵を描いた。

編集：特定非営利活動法人日本芸術家協会・事務局（以下JAG）
本新聞(JAGニュース)に掲載された作品画像や文章等の全部または一部をJAGの承諾無しに複製や電子媒体化、SNS公開することを禁じます。2016/6